

# 高校

# 特別支援学校

## 東京都立田園調布高校 大学・企業と連携

スマホで予習し、翌日の授業に臨む。東京都立田園調布高校(海發真一校長、生徒710人)で6月16日、東京大学大学院情報学環反転学習社会連携講座(FLIT)と「gacco」を運営する㈱ドコモ

gaccoが連携して、大規模オンライン講座(JMOOC)の動画を高校生向けにカスタマイズしたものを反転授業の教材に活用した日本史の授業が行われた。短時間で構成された動画教材をスマートフォンで視聴するという学習方法は「隙間時間をうまく活用して学べる」「分かりやすい」と生徒にも好評だった。

## 日本史 動画で予習、授業ではワークシート記入、グループ活動

英訳第一の少年期〜青年期



動画教材(上)を基に各自が調べた人物について紹介し合いながら、他者との接点や共通点を話し合う生徒たち(右)

## 開国の影響を多面的に理解

今回、「それぞれの池尻良平特任助教が高明治時代」をテーマに、在校生向けに内容を一部行った反転授業(計3編)の教材に使用した。生徒はまず、12人の郷和入教授による「日本人を選び、宿題として本中世の自由と平等」約15分の動画を視聴し、幕末〜明治初期に活躍した12人の人物史を紹介するオリジナルコンテンツと動画を2本。本郷教授の背景などについて1枚のワークシートにまとめ、開国の影響を多面的に理解する。

「今回は単発での実施だったが、長期的に反転学習を行っていくことで生徒の学習に対する考え方や姿勢も変わっていくのではないかと」池尻特任助教。授業を担当した相川浩昭教諭も、継続的な反転授業の実施には、生徒の動画視聴環境や多様な生徒の興味・関心に応える質の高い動画教材の精選が課題であるとしながらも、「他教科と比べて日本史は特に、基礎的な知識を教える機会が多く、一方的な詰め込みになりがちだが、反転授業によって、限られた時間の中でより多くの情報を与えると同時に、授業では、覚えた知識をアウトプットし発展的な内容に時間を多く使うことができる」として、「今回の授業で、先生に聞きたいタイプなグループワークや動画視聴で学習する方法は、合いたった活動を有機的にう人と合わない人がいなくなる効果があるかもしれない。先生後の授業改善に生かしたい」と述べた。

## スマホ使い「反転授業」

次に出された宿題は、本郷教授による歴史学の講座の視聴。陸上だけでなく海上にも武士がいたことを例に「二倍史学」について説明し、歴史の多角的な見方を学んだ。16日の最終回の授業では、それぞれ異なる人物について調べた生徒が集まってグループをつくり、互いの情報を組み合わせて通じて、開国が当時の人々や社会に与えた影響について多面的に理解することを試みた。授業後「今までは、単に用語や名前を覚えただけでなく海上にも武士がいたことを例に、今回のような人や出来事を知ることができて楽しかった。動画も反転授業の実施には、生徒の動画視聴環境や多様な生徒の興味・関心に応える質の高い動画教材の精選が課題であるとしながらも、

「他教科と比べて日本史は特に、基礎的な知識を教える機会が多く、一方的な詰め込みになりがちだが、反転授業によって、限られた時間の中でより多くの情報を与えると同時に、授業では、覚えた知識をアウトプットし発展的な内容に時間を多く使うことができる」として、「今回の授業で、先生に聞きたいタイプなグループワークや動画視聴で学習する方法は、合いたった活動を有機的にう人と合わない人がいなくなる効果があるかもしれない。先生後の授業改善に生かしたい」と述べた。

3・3750・4346